



保健だより

連日猛暑が続いて、子どもも大人も体力の消耗が激しく疲れが出る時期です。

また、肌の露出の多い季節ですのであつという間に病気が広まることもあります。夏にどんな病気が流行るか知ったうえで夏の感染症に十分に気をつけていきましょう。

7月保育園では、手足口病のお子さんが多くみられました。またヘルパンギーナや突発性発疹もみられました。※保育のしおりの P12 の登園許可書の必要な感染症をご確認ください。必要かどうかわからない時は、保育園に通っていることを伝え主治医の先生に相談してください。

ヘルパンギーナ【症状】 高熱・のどの痛みが特徴。のどに水疱や潰瘍ができ痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなるほどになる。

【対応】 のどの痛みは熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは安静に過ごしましょう

咽頭結膜熱(プール熱)【症状】 39℃以上の発熱とのどの痛みがあり、目やに・痒み・痛み・充血・涙など結膜炎のような症状。

【対応】 感染したら、症状がなくなってから2日経過するまでは登園停止。自宅で安静に過ごしましょう。

流行性角結膜炎【症状】 まぶたの腫れや異物感・痛み・充血。目やにで目が開けられなくなったり発熱や下痢を伴うこともある。

【対応】 完治まで2・3週間かかり、感染の恐れがないと認められるまでは登園停止。手洗いをこまめに行い、タオルの共有は避ける。

手足口病【症状】 手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や発疹が出来、熱が出る事もある。

【対応】 3～5日で治る。元気があれば登園できるが、口の中の水疱が痛み食欲が低下したりするので通常に戻るまでは自宅でゆっくり休むのが望ましい

とびひ【症状】 すり傷・虫刺され、あせもなどを引っかいて傷ができるとそこから細菌が入り皮膚に水ぶくれができ破けて赤くむけたような状態になる。感染力が強く他の部位にも広がっていく。

【対応】 患部を覆えば登園可。患部がジクジクしている場合はプールは避ける。

頭しらみ【症状】 寝具やタオルを介して感染する。後頭部側頭の髪の毛に卵を産み付け、だいたい8日で卵から孵化し、2～3週間で産卵を開始する。皮膚から血を吸い繁殖、まず痒くなり、引っ掻いているうちに湿疹のようになる。

【対応】 寝具などは60度の熱湯につければ死ぬ。髪は市販のスミスリンシャンプーという殺虫剤入りシャンプーを使うと効果がある。

※伝染性紅斑(リンゴ病)、ヘルパンギーナ、手足口病、とびひは主治医の先生の判断により登園許可が必要ない場合もあります。

【満4歳以上 尿検査のお知らせ】

- 1) 対象児 市内在住の平成23年4月2日生まれ～平成25年9月30日生まれの児
- 2) 内容 尿検査（早朝尿） 検査項目 蛋白・糖・潜血
- 3) 日程 9月11日（火） 予備日 9月14日（木）
- 4) 注意点 前日の夕食後にビタミン剤（ビタミンC）やビタミンCを多く含むジュース類を飲むのは控えましょう。
起きてすぐの尿をとってください。
朝食後や甘いジュース等を飲んだ後に採尿すると、糖が出ることがあります。
※千葉県以外に在住の方は検査費用310円が必要になります。

【第2期 麻疹・風疹予防接種のお知らせ】

年長のお子さんは小学校に進学するまでに必ず受けましょう。

麻疹・風疹予防接種は、第1期と第2期の2回接種します。第1期にあたる麻疹・風疹の予防接種を受けているだけでは、十分な免疫ができません。小学校入学前の第2期予防接種を受けてしっかり免疫をつけましょう。

- 第2期対象者 平成23年4月2日～平成24年4月1日
- 平成29年4月1日～平成30年3月31日まで（小学校入学前の1年間）
- 接種費用 無料

尚、接種を受けた方は、必ず担任にお知らせください。

【夏に多いとびひ とびひにかかったら・・・】

- 水疱の中の金が他にうつらないように、ガーゼなどで覆い、医師の判断を受けましょう。
- お風呂は感染を防ぐため、最後にしましょう。
- 爪を切っておきましょう。

園では、石けんをつけて、ていねいに手洗いをして予防していきます。

